

文教委員会情報連絡

令和7年7月7日

情報連絡事項

頁

(教育指導部)

- | | |
|--|---|
| (1) 第2期足立区教育振興ビジョン(案)のパブリックコメントの実施結果について… | 2 |
| (2) 令和7年度中1夏季勉強合宿の実施について…………… | 2 |
| (3) AI英会話ソフトのモデル校導入による効果検証の実施について…… | 2 |
| (4) 「足立区学力定着に関する総合調査」の実施方法変更に向けた実証実験の実施について… | 3 |
| (5) 「探求・校務改革支援補助金」を活用したシステム試行について…… | 4 |
| (6) 足立区フリースクール等利用者支援助成金の開始について…………… | 5 |
| (7) 令和6年度不登校支援連絡会の開催結果について…………… | 6 |
| (8) 令和8年度特別支援学級の新設について…………… | 8 |
| (9) 令和6年度ペアレント・メンターによる相談事業の実績について…… | 9 |

(学校運営部)

- | | |
|--|----|
| (10) 大学等の進学に関する奨学金・教育ローン説明会開催結果について… | 10 |
| (11) 小・中学校の児童・生徒数及び学級数について(令和7年4月7日現在)… | 12 |
| (12) 令和6年度おいしい給食推進事業の実施結果等及び令和7年度事業計画について… | 22 |
| (13) 青少年委員の委嘱について…………… | 28 |
| (14) あだち放課後子ども教室の令和6年度実施状況について…………… | 29 |

【参考】《子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告事項》

※ 資料は、子ども・子育て支援対策調査特別委員会(教育委員会)の報告資料にあり

- (1) 乳幼児を対象にした夏の遊び場確保事業の試験実施について
- (2) 就学前教育・保育施設の第1子保育料無償化等について
- (3) 令和7年4月1日の保育所等利用待機児童の状況について
- (4) 居宅訪問型保育事業による医療的ケア児支援(案)について
- (5) 令和7年度学童保育室待機児童の状況について
- (6) こども家庭センターの機能設置について

(教 育 委 員 会)

文教委員会情報連絡一覧表

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
<p>1 第2期足立区教育振興ビジョン（案）のパブリックコメントの実施結果について</p> <p>所管課 【教育政策課】</p>	<p>1 パブリックコメント実施結果</p> <p>(1) 実施期間 令和7年4月17日（木）～ 5月16日（金）</p> <p>(2) 意見提出者数 0人</p> <p>2 今後のスケジュール</p> <p>(1) 教育委員会定例会に教育振興ビジョン策定に係る議案を提出（8月予定）</p> <p>(2) 策定後、文教委員会に報告</p>		
<p>2 令和7年度中1夏季勉強合宿の実施について</p> <p>所管課 【学力定着推進課】</p>	<p>1 令和7年度の実施について</p> <p>昨年度に引き続き、宿泊型と通所型の選択制で実施する。</p> <p>(1) 参加校</p> <p>ア 宿泊型 14校</p> <p>イ 通所型 21校</p> <p>(2) 参加予定生徒数</p> <p>ア 宿泊型 各校2名以上</p> <p>イ 通所型 原則、基準（※）に該当する生徒全員</p> <p>※ 区調査で数学・算数の正答率が40%未満</p>	<p>1 宿泊型</p> <p>【日時】 令和7年8月5日（火）～7日（木） （2泊3日）</p> <p>【場所】 日光林間学園</p> <p>2 通所型</p> <p>【日時】 夏季休業中の6～8日間</p> <p>【場所】 各校</p>	
<p>3 AI英会話ソフトのモデル校導入による効果検証の実施について</p> <p>所管課 【学力定着推進課】</p>	<p>1 概要</p> <p>区の英語教育をさらに充実・強化させるため、モデル校（中学校2校）の2～3学年にAI英会話ソフトを導入し、その効果を検証する。</p> <p>なお、本事業は文部科学省「AIの活用による英語教育強化事業」に採択されたため、事業に係る経</p>		

	<p>費は、国から 10/10 補助される。</p> <p>2 今後のスケジュール</p> <p>令和 8 年 1 月末まで効果検証を行い、検証結果を踏まえた今後の方針等については、改めて文教委員会において報告する。</p>		
<p>4 「足立区学力定着に関する総合調査」の実施方法変更に向けた実証実験の実施について</p> <p>所管課 【学力定着推進課】</p>	<p>1 概要</p> <p>全国学力・学習状況調査が、令和 9 年度から全面 CBT 化されることを受け、区学力調査においても CBT を導入することの効果や課題を検証するため、令和 7 年度中に実証実験を行う。</p> <p>2 実証実験の方法等</p> <p>3 社で実証実験等を行い、検証及びプロポーザルの制度設計を進めていく。</p> <p>3 実証実験後のスケジュール</p> <p>令和 9 年度の CBT 導入に向け、令和 8 年度中にプロポーザルを行う予定。</p>		

文教委員会情報連絡

令和7年7月7日

件名	「探求・校務改革支援補助金」を活用したシステム試行について												
所管部課名	教育指導部教育指導課												
内容	<p>1 探求・校務改革支援補助金について</p> <p>経済産業省が民間事業者に探求的な学び、或いは、教職員の負担軽減に資するシステム等を募り、採択したシステムを学校や教育委員会に提示する。教育委員会等は試行したいシステムを令和7年度末まで無償で利用できる。システムを提供する事業者には、経産省が所要経費の1/3～1/2の補助金を支給するスキームである。</p> <p>令和6年度にも同様の事業があり、当区では主に自動採点システムを試行し、令和7年度から全中学校への導入に至った。</p> <p>2 令和7年度に試行するシステムについて</p> <p>全小中学校に試行を希望するシステムを募った結果、15種の希望があった。教育指導部で審査し、下表のとおり試行する。</p> <p>国が令和8年度からの区負担での全校導入も見据えた試行を求めているため、今年度はメニューを絞って試行する。</p> <table border="1" data-bbox="419 1037 1465 1630"> <thead> <tr> <th></th> <th>システム名 処理の概要</th> <th>試行する学校 選定理由</th> <th>区費で導入する 際のコスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>時間割クラウド KOOM 予め教員の担当教科、勤務形態を登録することで、教員の出張、休暇の際の代替時間割を自動作成できる。</td> <td>既設校を除く全中学校 時間割変更は、教科毎の必要時数、講師の勤務可能時数等を勘案する必要があり、特に中学校長を悩ませている</td> <td>1校月額9,800円 9,800*35*12= 4,116,000円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>電子図書館 Yomokka ! 4,800冊の作品をタブレットで閲覧できる。</td> <td>希望した小学校3校 児童に多くの図書に触れる機会を与える効果を検証する</td> <td>児童1人2,920円 3校の児童・1,315名で年384万円。5年契約で16%割引。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 実施に際しては学校での設定作業、検証結果の報告、アンケート調査など一定の負担を求められるため、2は希望校に限り検証する。1は既設校での業務削減効果の評価が高いため、既設の1校を除く全中学校で試行する。</p> <p>3 今後の方針</p> <p>(1) 学校と連携して導入効果を把握し、令和8年度からの導入可否を検討していく。</p> <p>(2) 区費で導入することとなる場合の経費について、財政課と協議していく</p>		システム名 処理の概要	試行する学校 選定理由	区費で導入する 際のコスト	1	時間割クラウド KOOM 予め教員の担当教科、勤務形態を登録することで、教員の出張、休暇の際の代替時間割を自動作成できる。	既設校を除く全中学校 時間割変更は、教科毎の必要時数、講師の勤務可能時数等を勘案する必要があり、特に中学校長を悩ませている	1校月額9,800円 9,800*35*12= 4,116,000円	2	電子図書館 Yomokka ! 4,800冊の作品をタブレットで閲覧できる。	希望した小学校3校 児童に多くの図書に触れる機会を与える効果を検証する	児童1人2,920円 3校の児童・1,315名で年384万円。5年契約で16%割引。
	システム名 処理の概要	試行する学校 選定理由	区費で導入する 際のコスト										
1	時間割クラウド KOOM 予め教員の担当教科、勤務形態を登録することで、教員の出張、休暇の際の代替時間割を自動作成できる。	既設校を除く全中学校 時間割変更は、教科毎の必要時数、講師の勤務可能時数等を勘案する必要があり、特に中学校長を悩ませている	1校月額9,800円 9,800*35*12= 4,116,000円										
2	電子図書館 Yomokka ! 4,800冊の作品をタブレットで閲覧できる。	希望した小学校3校 児童に多くの図書に触れる機会を与える効果を検証する	児童1人2,920円 3校の児童・1,315名で年384万円。5年契約で16%割引。										

文教委員会情報連絡

令和7年7月7日

件名	足立区フリースクール等利用者支援助成金の開始について				
所管部課名	教育指導部 不登校施策推進担当課 教育指導部 こども支援センターげんき教育相談課				
内容	<p>不登校児童・生徒の保護者の負担軽減を目的に、令和7年度から「足立区フリースクール等利用者支援助成金」を新設し、申請の受付を開始する。ついては、以下のとおり報告する。</p> <p>1 対象 以下の全てに該当する児童・生徒の保護者。 なお、小・中学生を対象とし、在籍校の公立・私立は問わない。</p> <table border="1" data-bbox="424 736 1385 1037"> <tr> <td data-bbox="424 736 625 842">保護者</td> <td data-bbox="625 736 1385 842">東京都フリースクール等利用者等支援事業助成金（以下「都助成金」）の交付決定を受けている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="424 842 625 1037">児童・生徒</td> <td data-bbox="625 842 1385 1037">① 足立区内に住所を有していること。 ② 欠席日数を問わず、何らかの心理的・情緒的・身体的もしくは社会的要因、背景により在籍校へ登校できていない状態にある。</td> </tr> </table> <p>※ 対象となるフリースクール等の施設や児童・生徒の状況等については都が審査していることから、区は対象者の住所要件のみを審査する。</p> <p>2 助成額及び対象経費 (1) 助成額 都助成金(上限2万円/月)に上乗せの形で、<u>1月あたり上限2万円</u> (区助成金 = 利用料 - 都助成金 - その他助成金等*) * その他助成金等は、東京都以外の自治体や財団等の利用料助成を想定</p> <p>(2) 助成対象経費 フリースクール等の利用料 ※ 入会金、食事代などのその他料金は対象外</p> <p>3 支給方法等 (1) 四半期毎に対象の児童・生徒の保護者の口座に振込 (2) 遡及申請可（4月に遡って支給）</p> <p>4 スケジュール 令和7年7月10日 あだち広報・ホームページに掲載 令和7年7月16日頃 教育だよりに掲載 令和7年8月初旬以降 都の交付決定後、随時申請受付開始 令和7年10月以降 実績に応じて順次助成金支給予定</p> <p>5 今後の方針 フリースクール運営事業者や対象児童・生徒の相談員等を通じ、必要な家庭に本助成制度を周知していく。</p>	保護者	東京都フリースクール等利用者等支援事業助成金（以下「都助成金」）の交付決定を受けている。	児童・生徒	① 足立区内に住所を有していること。 ② 欠席日数を問わず、何らかの心理的・情緒的・身体的もしくは社会的要因、背景により在籍校へ登校できていない状態にある。
保護者	東京都フリースクール等利用者等支援事業助成金（以下「都助成金」）の交付決定を受けている。				
児童・生徒	① 足立区内に住所を有していること。 ② 欠席日数を問わず、何らかの心理的・情緒的・身体的もしくは社会的要因、背景により在籍校へ登校できていない状態にある。				

文教委員会情報連絡

令和7年7月7日

件名	令和6年度不登校支援連絡会の開催結果について																		
所管部課名	教育指導部 不登校施策推進担当課 教育指導部 こども支援センターげんき教育相談課																		
内容	<p>令和6年度不登校支援連絡会を開催したので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 開催日等 (1) 開催日 令和7年3月26日(水) 15時～17時 (2) 場所 こども支援センターげんき5階 研修室3</p> <p>2 参加団体</p> <table border="1" data-bbox="432 795 1390 1240"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学びの多様化学校</td> <td>① 東京みらい中</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居場所支援 実施事業者</td> <td>② NPO 法人カタリバ</td> </tr> <tr> <td>③ NPO 法人キッズドア</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">フリースクール等 事業者</td> <td>④ あだちファミリースペース every tree</td> </tr> <tr> <td>⑤ 東京未来大学みらいフリースクール</td> </tr> <tr> <td>⑥ トライ式高等学院北千住キャンパス</td> </tr> <tr> <td>⑦ LILA 子どもの学びを支援する会</td> </tr> <tr> <td>区立学校関係者</td> <td>⑧ 区立小・中学校長会代表</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 内容 (1) 足立区の不登校の現状と R7 新規・拡充事業について (2) 各団体の取組について (3) 意見交換「不登校支援に向けた連携について」</p> <p>4 意見交換の主な内容</p> <table border="1" data-bbox="432 1505 1390 2054"> <thead> <tr> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもたちは何らかの事情で学校に行けていないが、やはり行きたいという子どもは多い。それぞれの団体に特徴があるのだから、その団体の強みを持ち寄り、各児童・生徒に対して連携していけたら良いと思う。</td> </tr> <tr> <td>フリースクールをはじめとした学びの多様化、その認知が社会で進んできているともいえる、その多様化が進んだ一つの指標として不登校が増えているという捉え方もできるのではないかと。</td> </tr> <tr> <td>足立区の居場所事業等で子どもたちには第三者の大人、斜め上の関係といったロールモデルが必要という課題がある。今日ご参加いただいている皆様の居場所で、良い大人との繋がりが増えることによって、不登校等の事例が減るのではないかと。</td> </tr> </tbody> </table>	種別	名称	学びの多様化学校	① 東京みらい中	居場所支援 実施事業者	② NPO 法人カタリバ	③ NPO 法人キッズドア	フリースクール等 事業者	④ あだちファミリースペース every tree	⑤ 東京未来大学みらいフリースクール	⑥ トライ式高等学院北千住キャンパス	⑦ LILA 子どもの学びを支援する会	区立学校関係者	⑧ 区立小・中学校長会代表	主な内容	子どもたちは何らかの事情で学校に行けていないが、やはり行きたいという子どもは多い。それぞれの団体に特徴があるのだから、その団体の強みを持ち寄り、各児童・生徒に対して連携していけたら良いと思う。	フリースクールをはじめとした学びの多様化、その認知が社会で進んできているともいえる、その多様化が進んだ一つの指標として不登校が増えているという捉え方もできるのではないかと。	足立区の居場所事業等で子どもたちには第三者の大人、斜め上の関係といったロールモデルが必要という課題がある。今日ご参加いただいている皆様の居場所で、良い大人との繋がりが増えることによって、不登校等の事例が減るのではないかと。
種別	名称																		
学びの多様化学校	① 東京みらい中																		
居場所支援 実施事業者	② NPO 法人カタリバ																		
	③ NPO 法人キッズドア																		
フリースクール等 事業者	④ あだちファミリースペース every tree																		
	⑤ 東京未来大学みらいフリースクール																		
	⑥ トライ式高等学院北千住キャンパス																		
	⑦ LILA 子どもの学びを支援する会																		
区立学校関係者	⑧ 区立小・中学校長会代表																		
主な内容																			
子どもたちは何らかの事情で学校に行けていないが、やはり行きたいという子どもは多い。それぞれの団体に特徴があるのだから、その団体の強みを持ち寄り、各児童・生徒に対して連携していけたら良いと思う。																			
フリースクールをはじめとした学びの多様化、その認知が社会で進んできているともいえる、その多様化が進んだ一つの指標として不登校が増えているという捉え方もできるのではないかと。																			
足立区の居場所事業等で子どもたちには第三者の大人、斜め上の関係といったロールモデルが必要という課題がある。今日ご参加いただいている皆様の居場所で、良い大人との繋がりが増えることによって、不登校等の事例が減るのではないかと。																			

5 連絡会后アンケートの主な意見

主な内容
教員によって対応力と課題意識にバラつきがある。
オンラインでも構わないので、情報交換の機会を持つことが大切だと思う。
区の施策の課題等を共有してもらい、それに対し各団体の利用者の声を吸い上げることができれば、政策設計に活かすことができるように思う。

6 今後の方針

今回は本連絡会の初回であったこともあり、意見交換に比べ区の施策に対する質問が多かった。次回に向けては、意見交換がより活発になるよう以下の情報を集約し、具体的なテーマを検討していく。

- (1) 区、学校に対する要望や各団体の課題の把握（保護者からの意見要望等含む）
- (2) 各団体の強みや好事例

7 今後の予定

次回、秋に開催予定の第2回不登校支援連絡会では、上記に加え、フリースクール助成金や不登校に関する児童・生徒のプレ調査結果など、区の施策についての情報共有を行う。

文教委員会情報連絡

令和7年7月7日

件名	令和8年度特別支援学級の新設について																						
所管部課名	こども支援センターげんき 支援管理課																						
内容	<p>令和8年4月に新設予定の特別支援学級について、東京都教育委員会へ新設に関わる調査票を提出したため報告する。</p> <p>1 令和8年度に特別支援学級を新設する学校及び理由</p> <p>(1) 小学校の知的固定学級3校</p> <table border="1" data-bbox="379 656 1369 913"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>学級数</th> <th>新設理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栗原北</td> <td>2学級</td> <td rowspan="3">抽選による保護者負担及び入級集中による学校負担を軽減（軽減が想定される学校は、湊江・江北・鹿浜第一・西伊興）</td> </tr> <tr> <td>西新井第一</td> <td>2学級</td> </tr> <tr> <td>湊江第一</td> <td>2学級</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 中学校の知的固定学級1校</p> <table border="1" data-bbox="379 1014 1369 1144"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>学級数</th> <th>新設理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒲原</td> <td>4学級</td> <td>区内東エリアの需要対応</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 小学校の言語障がい学級1校</p> <table border="1" data-bbox="379 1245 1369 1458"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>学級数</th> <th>新設理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿浜五色桜</td> <td>1～2学級</td> <td>言語障がい学級は西エリアになく、その受け皿となっている弥生小の負担及び通級にかかる保護者負担を軽減</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 今後の方針</p> <p>令和8年4月にスムーズな開設ができるよう、教室修繕などの学校支援を関係所管と協力しながら実施していく。</p> <p>また、学校の事情などによる方針の変更や補正予算の計上が必要な場合はその都度報告していく。</p>	対象校	学級数	新設理由	栗原北	2学級	抽選による保護者負担及び入級集中による学校負担を軽減（軽減が想定される学校は、湊江・江北・鹿浜第一・西伊興）	西新井第一	2学級	湊江第一	2学級	対象校	学級数	新設理由	蒲原	4学級	区内東エリアの需要対応	対象校	学級数	新設理由	鹿浜五色桜	1～2学級	言語障がい学級は西エリアになく、その受け皿となっている弥生小の負担及び通級にかかる保護者負担を軽減
対象校	学級数	新設理由																					
栗原北	2学級	抽選による保護者負担及び入級集中による学校負担を軽減（軽減が想定される学校は、湊江・江北・鹿浜第一・西伊興）																					
西新井第一	2学級																						
湊江第一	2学級																						
対象校	学級数	新設理由																					
蒲原	4学級	区内東エリアの需要対応																					
対象校	学級数	新設理由																					
鹿浜五色桜	1～2学級	言語障がい学級は西エリアになく、その受け皿となっている弥生小の負担及び通級にかかる保護者負担を軽減																					

文教委員会情報連絡

令和7年7月7日

件名	令和6年度ペアレント・メンターによる相談事業の実績について																																															
所管部課名	こども支援センターげんき支援管理課																																															
内容	<p>令和6年度より、委託事業から協定に基づく協働事業に運営方法を変更した「ペアレント・メンターによる相談事業」の実績等について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 直近の相談件数実績等</p> <table border="1" data-bbox="448 689 1241 913"> <thead> <tr> <th></th> <th>個別相談 (電話相談含む)</th> <th>グループ相談 (出張相談等含む)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>66回</td> <td>36回</td> </tr> <tr> <td>6年度</td> <td>101回</td> <td>9回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 広報紙やSNS等による周知活動の結果、個別相談増加 (2) 個別相談を重視したことにより、グループ相談の日程減少 (3) 相談のきっかけと相談者の対象年齢の傾向は以下のとおり</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="379 1115 858 1594"> <p>【相談のきっかけ】</p> <table border="1"> <caption>【相談のきっかけ】</caption> <tr><th>きっかけ</th><th>割合</th></tr> <tr><td>2回以上利用</td><td>44%</td></tr> <tr><td>広報紙</td><td>18%</td></tr> <tr><td>ホームページ</td><td>10%</td></tr> <tr><td>関係機関から紹介</td><td>9%</td></tr> <tr><td>チラシ</td><td>3%</td></tr> <tr><td>学校等から配信</td><td>5%</td></tr> <tr><td>LINE</td><td>7%</td></tr> <tr><td>知人から紹介</td><td>2%</td></tr> <tr><td>新聞</td><td>2%</td></tr> </table> </div> <div data-bbox="970 1115 1385 1594"> <p>【相談者の対象年齢】</p> <table border="1"> <caption>【相談者の対象年齢】</caption> <tr><th>対象年齢</th><th>割合</th></tr> <tr><td>小学生(低)</td><td>20%</td></tr> <tr><td>小学生(中)</td><td>10%</td></tr> <tr><td>小学生(高)</td><td>8%</td></tr> <tr><td>中学生</td><td>19%</td></tr> <tr><td>高校生</td><td>15%</td></tr> <tr><td>大学生以上</td><td>6%</td></tr> <tr><td>未就学(3~5)</td><td>19%</td></tr> <tr><td>未就学(0~2)</td><td>3%</td></tr> </table> </div> </div> <p>2 今後の方針</p> <p>(1) 引き続き様々な媒体を活用した事業周知を行う。 (2) 「グループ相談」は活動内容がわかりにくいという声があったことから、名称を「グループトーク」に変更する。 (3) グループ相談について、土曜日やげんき以外での開催の要望があったことから試行実施する(土曜日開催は、広報紙・SNS等で周知し、6/21(土)に第一回を実施した)。 (4) 他団体との連携、イベント等へのアウトリーチを検討継続 (5) 東京都の役割整理や都内各区市への当事業の普及について、都へ要望していく。</p>		個別相談 (電話相談含む)	グループ相談 (出張相談等含む)	5年度	66回	36回	6年度	101回	9回	きっかけ	割合	2回以上利用	44%	広報紙	18%	ホームページ	10%	関係機関から紹介	9%	チラシ	3%	学校等から配信	5%	LINE	7%	知人から紹介	2%	新聞	2%	対象年齢	割合	小学生(低)	20%	小学生(中)	10%	小学生(高)	8%	中学生	19%	高校生	15%	大学生以上	6%	未就学(3~5)	19%	未就学(0~2)	3%
	個別相談 (電話相談含む)	グループ相談 (出張相談等含む)																																														
5年度	66回	36回																																														
6年度	101回	9回																																														
きっかけ	割合																																															
2回以上利用	44%																																															
広報紙	18%																																															
ホームページ	10%																																															
関係機関から紹介	9%																																															
チラシ	3%																																															
学校等から配信	5%																																															
LINE	7%																																															
知人から紹介	2%																																															
新聞	2%																																															
対象年齢	割合																																															
小学生(低)	20%																																															
小学生(中)	10%																																															
小学生(高)	8%																																															
中学生	19%																																															
高校生	15%																																															
大学生以上	6%																																															
未就学(3~5)	19%																																															
未就学(0~2)	3%																																															

文教委員会情報連絡一覧表

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
<p>10 大学等の進学に関する奨学金・教育ローン説明会開催結果について</p> <p>所管課 【学務課】</p>	<p>大学等の進学に関する奨学金・教育ローン説明会を以下のとおり開催したので、その開催結果を情報提供する。</p> <p>1 目的、対象者等</p> <p>(1) 目的 教育費の負担と奨学金返済の不安などを軽減する。</p> <p>(2) 対象者 区内在住で、大学などへの進学を検討している中学・高校生とその保護者</p> <p>(3) 定員 200人程度</p> <p>2 開催結果</p> <p>(1) 参加人数 127人</p> <p>(2) 講演内容</p> <p>ア 奨学金等の進学資金について（講師：NPO法人 若者の進学応援プロジェクト代表理事 石矢 正幸氏）</p> <p>イ 教育ローンについて（講師：足立成和信用金庫六町地域生活応援プラザ副所長 山崎明彦氏）</p> <p>ウ 足立区の奨学金制度について（説明者：足立区）</p> <p>(3) 参加者の主な意見</p> <p>ア どれを選んだら良いか、どうしたら良いか先が見えたような気がした</p> <p>イ パンフレットを読んでもわからない部分があるので、質問できたのは心強かった</p>	<p>【開催日時】</p> <p>令和7年4月26日（土） 10時00分～ 11時40分</p> <p>【開催場所】</p> <p>足立区役所2階 庁舎ホール</p>	

	<p>3 今後の方針</p> <p>奨学金についてよりニーズにあった情報提供ができるよう、参加者意見を踏まえ検討していく。</p>		
--	--	--	--

文 教 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年7月7日

件 名	小・中学校の児童・生徒数及び学級数について（令和7年4月7日現在）																																																																														
所管部課名	学校運営部学務課																																																																														
内 容	<p>1 小・中学校児童生徒数及び学級数</p> <p>(1) 児童・生徒数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 65%;"></th> <th style="width: 15%;">令和6年度</th> <th style="width: 15%;">令和7年度</th> <th style="width: 5%;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">小 学 校</td> <td>①通常学級</td> <td style="text-align: right;">28,721</td> <td style="text-align: right;">28,221</td> <td style="text-align: center;">△500</td> </tr> <tr> <td>②特別支援学級（固定級）</td> <td style="text-align: right;">371</td> <td style="text-align: right;">429</td> <td style="text-align: center;">58</td> </tr> <tr> <td>児童数合計 ①+②</td> <td style="text-align: right;">29,092</td> <td style="text-align: right;">28,650</td> <td style="text-align: center;">△442</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">内特別支援学級（通級）</td> <td style="text-align: right;">178</td> <td style="text-align: right;">178</td> <td style="text-align: center;">±0</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">内特別支援教室</td> <td style="text-align: right;">1,985</td> <td style="text-align: right;">2,144</td> <td style="text-align: center;">159</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">中 学 校</td> <td>③通常学級</td> <td style="text-align: right;">13,122</td> <td style="text-align: right;">13,058</td> <td style="text-align: center;">△64</td> </tr> <tr> <td>④第四中学校夜間学級</td> <td style="text-align: right;">43</td> <td style="text-align: right;">49</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>⑤特別支援学級（固定級）</td> <td style="text-align: right;">241</td> <td style="text-align: right;">231</td> <td style="text-align: center;">△10</td> </tr> <tr> <td>生徒数合計 ③+④+⑤</td> <td style="text-align: right;">13,406</td> <td style="text-align: right;">13,338</td> <td style="text-align: center;">△68</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">内特別支援教室</td> <td style="text-align: right;">458</td> <td style="text-align: right;">474</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考 小学1年生児童数（通常級+特別支援固定級） (R7) 4,489人－(R6) 4,567人＝△78人 中学1年生生徒数（通常級+夜間学級+特別支援固定級） (R7) 4,407人－(R6) 4,416人＝△9人</p> <p>(2) 学級数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 65%;"></th> <th style="width: 15%;">令和6年度</th> <th style="width: 15%;">令和7年度</th> <th style="width: 5%;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">小 学 校</td> <td>学級数（通常学級）</td> <td style="text-align: right;">994</td> <td style="text-align: right;">1,000</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>学級数（特別支援学級・固定級）</td> <td style="text-align: right;">52</td> <td style="text-align: right;">52</td> <td style="text-align: center;">±0</td> </tr> <tr> <td>学級数（特別支援学級・通級）</td> <td style="text-align: right;">12</td> <td style="text-align: right;">12</td> <td style="text-align: center;">±0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">中 学 校</td> <td>学級数（通常学級）</td> <td style="text-align: right;">397</td> <td style="text-align: right;">387</td> <td style="text-align: center;">△10</td> </tr> <tr> <td>学級数（第四中学校夜間学級）</td> <td style="text-align: right;">5</td> <td style="text-align: right;">5</td> <td style="text-align: center;">±0</td> </tr> <tr> <td>学級数（特別支援学級・固定級）</td> <td style="text-align: right;">32</td> <td style="text-align: right;">32</td> <td style="text-align: center;">±0</td> </tr> </tbody> </table>			令和6年度	令和7年度	増減	小 学 校	①通常学級	28,721	28,221	△500	②特別支援学級（固定級）	371	429	58	児童数合計 ①+②	29,092	28,650	△442	内特別支援学級（通級）	178	178	±0	内特別支援教室	1,985	2,144	159	中 学 校	③通常学級	13,122	13,058	△64	④第四中学校夜間学級	43	49	6	⑤特別支援学級（固定級）	241	231	△10	生徒数合計 ③+④+⑤	13,406	13,338	△68	内特別支援教室	458	474	16			令和6年度	令和7年度	増減	小 学 校	学級数（通常学級）	994	1,000	6	学級数（特別支援学級・固定級）	52	52	±0	学級数（特別支援学級・通級）	12	12	±0	中 学 校	学級数（通常学級）	397	387	△10	学級数（第四中学校夜間学級）	5	5	±0	学級数（特別支援学級・固定級）	32	32	±0
		令和6年度	令和7年度	増減																																																																											
小 学 校	①通常学級	28,721	28,221	△500																																																																											
	②特別支援学級（固定級）	371	429	58																																																																											
	児童数合計 ①+②	29,092	28,650	△442																																																																											
	内特別支援学級（通級）	178	178	±0																																																																											
	内特別支援教室	1,985	2,144	159																																																																											
中 学 校	③通常学級	13,122	13,058	△64																																																																											
	④第四中学校夜間学級	43	49	6																																																																											
	⑤特別支援学級（固定級）	241	231	△10																																																																											
	生徒数合計 ③+④+⑤	13,406	13,338	△68																																																																											
	内特別支援教室	458	474	16																																																																											
		令和6年度	令和7年度	増減																																																																											
小 学 校	学級数（通常学級）	994	1,000	6																																																																											
	学級数（特別支援学級・固定級）	52	52	±0																																																																											
	学級数（特別支援学級・通級）	12	12	±0																																																																											
中 学 校	学級数（通常学級）	397	387	△10																																																																											
	学級数（第四中学校夜間学級）	5	5	±0																																																																											
	学級数（特別支援学級・固定級）	32	32	±0																																																																											

2 学校・学年別の詳細

P15～21「小学校別児童数・学級数（通常学級）」「中学校別生徒数・学級数（通常学級）」「児童・生徒・学級数（特別支援学級）」「特別支援教室利用児童数（小学校）」「特別支援教室利用生徒数（中学校）」を参照。

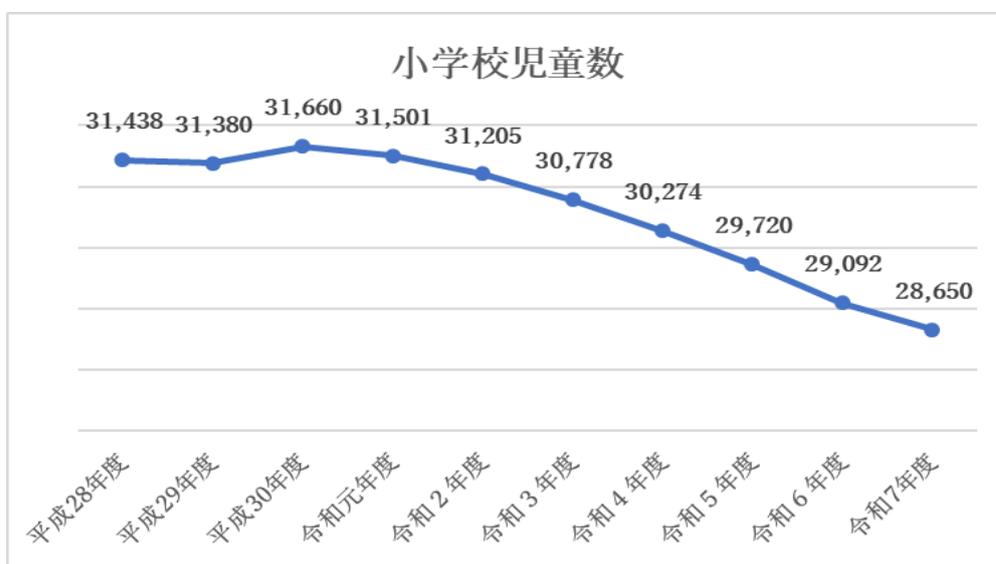
3 「35人学級」の実施について

- (1) 小学1年生：平成23年度から、国基準で実施。
- (2) 小学2年生：平成24年度から、都基準で実施（令和3年度から国基準）。
- (3) 小学3年生：令和4年度から、国基準で実施。
- (4) 小学4年生：令和5年度から、国基準で実施。
- (5) 小学5年生：令和6年度から、国基準で実施。
- (6) 小学6年生：令和7年度から、国基準で実施。
- (7) 中学1年生：平成25年度から、都基準で実施。

4 過去10年間の児童・生徒数の推移

(1) 小学校児童数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
児童数	31,438	31,380	31,660	31,501	31,205	30,778	30,274	29,720	29,092	28,650
増減	131	△58	280	△159	△296	△427	△504	△554	△628	△442



(2) 中学校生徒数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
生徒数	14,070	13,824	13,425	13,336	13,626	13,784	13,749	13,580	13,406	13,338
増減	△ 234	△ 246	△ 399	△ 89	290	158	△ 35	△ 169	△ 174	△ 68



令和7年度 小学校別 児童数・学級数（通常学級）

令和7年4月7日現在

番号	小学校名	児 童 数							学 級 数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
1	青 井	45	54	51	63	56	53	322	2	2	2	2	2	2	12
2	足 立	95	82	81	85	100	98	541	3	3	3	3	3	3	18
3	足立入谷	6	10	20	18	12	20	86	1	1	1	1	1	1	6
4	綾 瀬	151	168	164	149	135	127	894	5	5	5	5	4	4	28
5	伊 興	91	90	101	113	92	89	576	3	3	3	4	3	3	19
6	梅 島	87	99	91	93	87	99	556	3	3	3	3	3	3	18
7	梅島第一	39	37	40	58	37	44	255	2	2	2	2	2	2	12
8	梅島第二	38	37	31	50	51	50	257	2	2	1	2	2	2	11
9	桜 花	57	51	46	53	63	64	334	2	2	2	2	2	2	12
10	扇	39	51	47	42	64	50	293	2	2	2	2	2	2	12
11	大 谷 田	65	62	65	53	56	53	354	2	2	2	2	2	2	12
12	興 本	62	64	61	59	65	68	379	2	2	2	2	2	2	12
13	加 平	97	103	102	97	101	104	604	3	3	3	3	3	3	18
14	亀 田	88	86	110	103	96	129	612	3	3	4	3	3	4	20
15	北 三 谷	36	37	24	37	55	38	227	2	2	1	2	2	2	11
16	栗 島	43	54	45	42	55	61	300	2	2	2	2	2	2	12
17	栗 原	40	56	65	60	54	66	341	2	2	2	2	2	2	12
18	栗原北	63	45	63	54	47	79	351	2	2	2	2	2	3	13
19	弘 道	22	31	32	42	44	29	200	1	1	1	2	2	1	8
20	弘道第一	38	58	55	45	50	50	296	2	2	2	2	2	2	12
21	江 北	136	129	120	124	114	117	740	4	4	4	4	4	4	24
22	古 千 谷	83	62	96	92	81	66	480	3	2	3	3	3	2	16
23	皿 沼	43	30	32	32	52	58	247	2	1	1	1	2	2	9
24	鹿浜五色桜	50	55	50	65	71	84	375	2	2	2	2	3	3	14
25	鹿浜第一	79	74	93	91	81	79	497	3	3	3	3	3	3	18
26	島 根	97	78	80	91	91	86	523	3	3	3	3	3	3	18
27	新 田	128	141	153	160	181	180	943	4	5	5	5	6	6	31
28	関 原	84	79	68	87	80	65	463	3	3	2	3	3	2	16
29	千 寿	105	130	129	147	169	157	837	3	4	4	5	5	5	26
30	千 寿 桜	78	90	86	81	99	82	516	3	3	3	3	3	3	18
31	千寿常東	76	77	89	81	72	92	487	3	3	3	3	3	3	18
32	千寿第八	71	70	72	81	85	82	461	3	2	3	3	3	3	17
33	千寿双葉	62	67	61	76	85	86	437	2	2	2	3	3	3	15
34	千寿本町	64	60	67	63	65	65	384	2	2	2	2	2	2	12
35	竹 の 塚	50	37	49	41	41	54	272	2	2	2	2	2	2	12
36	辰 沼	69	69	98	83	87	83	489	2	2	3	3	3	3	16
37	寺 地	72	53	51	57	64	50	347	3	2	2	2	2	2	13
38	舎 人	84	64	63	86	79	85	461	3	2	2	3	3	3	16
39	舎人第一	55	71	83	81	82	78	450	2	3	3	3	3	3	17
40	中 川	36	49	40	46	45	60	276	2	2	2	2	2	2	12

令和7年度 小学校別 児童数・学級数（通常学級）

令和7年4月7日現在

番号	小学校名	児 童 数							学 級 数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
41	中川北	71	62	67	86	74	63	423	3	2	2	3	3	2	15
42	中川東	53	54	48	46	52	48	301	2	2	2	2	2	2	12
43	中島根	46	50	50	48	44	45	283	2	2	2	2	2	2	12
44	長門	34	26	33	45	40	37	215	1	1	1	2	2	2	9
45	西新井	83	86	89	81	87	83	509	3	3	3	3	3	3	18
46	西新井第一	51	52	50	56	54	51	314	2	2	2	2	2	2	12
47	西新井第二	45	57	34	56	37	53	282	2	2	1	2	2	2	11
48	西伊興	88	88	98	99	112	83	568	3	3	3	3	4	3	19
49	西保木間	28	42	27	29	30	23	179	1	2	1	1	1	1	7
50	花畑	56	47	40	55	48	51	297	2	2	2	2	2	2	12
51	花畑第一	59	54	55	65	75	85	393	2	2	2	2	3	3	14
52	花畑西	38	36	36	54	53	60	277	2	2	2	2	2	2	12
53	花保	74	94	80	88	95	78	509	3	3	3	3	3	3	18
54	東綾瀬	77	95	69	79	78	88	486	3	3	2	3	3	3	17
55	東伊興	79	87	101	79	103	94	543	3	3	3	3	3	3	18
56	東加平	78	97	95	112	96	81	559	3	3	3	4	3	3	19
57	東栗原	42	44	66	53	60	51	316	2	2	2	2	2	2	12
58	東瀏江	93	83	79	81	91	92	519	3	3	3	3	3	3	18
59	平野	77	91	67	85	95	84	499	3	3	2	3	3	3	17
60	瀏江	69	60	60	66	62	60	377	2	2	2	2	2	2	12
61	瀏江第一	74	89	71	95	92	93	514	3	3	3	3	3	3	18
62	保木間	56	51	58	53	57	55	330	2	2	2	2	2	2	12
63	宮城	57	60	70	78	83	76	424	2	2	2	3	3	3	15
64	六木	59	65	64	65	69	81	403	2	2	2	2	2	3	13
65	本木	64	66	61	58	68	66	383	2	2	2	2	2	2	12
66	弥生	68	77	65	71	92	97	470	2	3	2	3	3	3	16
67	鹿浜未来	72	72	66	54	69	52	385	3	3	2	2	2	2	14
合計		4,415	4,545	4,573	4,818	4,960	4,910	28,221	163	162	157	172	174	172	1,000

(学校運営部 学務課)

令和7年度 中学校別 生徒数・学級数（通常学級）

令和7年4月7日現在

番号	中学校名	生徒数				学級数				
		1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	複式	合計
1	第一	82	133	93	308	3	4	3		10
2	第四	202	198	192	592	6	5	5		16
3	第五	69	76	65	210	2	2	2		6
4	第六	100	99	100	299	3	3	3		9
5	第七	128	130	133	391	4	4	4		12
6	第九	134	134	172	440	4	4	5		13
7	第十	170	147	157	474	5	4	4		13
8	第十一	203	165	196	564	6	5	5		16
9	第十二	89	109	86	284	3	3	3		9
10	第十三	173	193	192	558	5	5	5		15
11	第十四	258	260	279	797	8	7	7		22
12	青井	30	50	33	113	1	2	1		4
13	伊興	198	195	177	570	6	5	5		16
14	入谷	51	16	21	88	2	1	1		4
15	入谷南	96	115	115	326	3	3	3		9
16	扇	66	68	68	202	2	2	2		6
17	加賀	58	59	48	165	2	2	2		6
18	蒲原	172	157	179	508	5	4	5		14
19	栗島	49	88	64	201	2	3	2		7
20	江南	53	54	50	157	2	2	2		6
21	江北桜	130	131	120	381	4	4	3		11
22	鹿浜菜の花	126	146	144	416	4	4	4		12
23	新田	166	179	174	519	5	5	5		15
24	千寿青葉	153	142	136	431	5	4	4		13
25	千寿桜堤	165	162	144	471	5	5	4		14
26	竹の塚	41	42	44	127	2	2	2		6
27	西新井	198	173	207	578	6	5	6		17
28	花畑	92	77	100	269	3	2	3		8
29	花畑北	31	36	38	105	1	1	1		3
30	花保	94	96	96	286	3	3	3		9
31	東綾瀬	200	187	173	560	6	5	5		16
32	東島根	124	95	106	325	4	3	3		10
33	渚江	145	197	148	490	5	5	4		14
34	谷中	140	143	162	445	4	4	5		13
35	六月	146	129	133	408	5	4	4		13
小計		4,332	4,381	4,345	13,058	136	126	125	0	387
	四中夜間（一般）	4	8	12	24	1	1	1		3
	四中夜間（日本語）	4	7	14	25				2	2
合計		4,340	4,396	4,371	13,107	137	127	126	2	392

（学校運営部 学務課）

令和7年度 児童・生徒・学級数（特別支援学級）

■小学校

令和7年4月7日現在

区分	障がい種別	No	学校名	児 童 数							学級数	
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		
固定級	知的	1	青 井	1	1	4	1	2	2	11	2	
		2	足 立	2	5	5	2	4	4	22	3	
		3	梅島第二	5	1	1	2	1	2	12	2	
		4	桜 花	5	4	2	2	2	4	19	2	
		5	江 北	4	9	4	5	4	2	28	3	
		6	古千谷	6	2	5	3	3	4	23	2	
		7	鹿浜第一	3	7	7	7	2	6	32	4	
		8	新 田			4	6	2	2	14	2	
		9	関 原	6	2	3	4	6	1	22	2	
		10	千寿桜	3	2	2	1	4	6	18	3	
		11	千寿常東	5	4	1	3	2	3	18	2	
		12	西伊興	3	2	7	9	8	3	32	4	
		13	花 畑	2	4	5	4	4	6	25	3	
		14	東 渚江	9	5	7	6	2	3	32	4	
		15	平 野	1	5	8	3	3	4	24	3	
		16	渚 江	8	4	6	6	3	5	32	3	
		17	宮 城				2	2	1	5	1	
		18	六 木	3	1	2		3	6	15	2	
		19	本 木	5	6	4	5	1	6	27	3	
		20	辰 沼	3		1	9	4	1	18	2	
固定級 合計				74	64	78	80	62	71	429	52	
通級	弱視	1	足 立	1	2	2	1	1	1	8	1	
		小計			1	2	2	1	1	1	8	1
	難聴	1	千寿本町	1	2				1		4	1
		2	中川東	休学級								
		3	弥 生		3	3	2	1	2	11	1	
	小計			1	5	3	2	2	2	15	2	
	言語	1	千寿本町	4	10	15	6	8	2	45	3	
		2	中川東	4	8	7	4	4	5	32	2	
3		弥 生	8	13	20	14	10	13	78	4		
小計			16	31	42	24	22	20	155	9		
通級 合計				18	38	47	27	25	23	178	12	

■中学校

区分	障がい種別	No	学校名	生 徒 数				学級数
				1年	2年	3年	合計	
固定級	知的	1	第 一	4	4	5	13	2
		2	第 六	2	11	2	15	2
		3	第 七	7	12	11	30	4
		4	第 十 三	8	9	12	29	4
		5	伊 興	8	11	5	24	3
		6	栗 島	12	8	11	31	4
		7	鹿浜菜の花	9	10	12	31	4
		8	新 田	4	3	2	9	2
		9	花 畑	4	4	13	21	3
		10	東 綾 瀬	9	7	12	28	4
固定級 合計				67	79	85	231	32

特別支援教室利用児童数（小学校）

令和7年4月7日

障害区分	No	小学校	児 童 数							合計
			1年	2年	3年	4年	5年	6年		
情緒	1	青 井	3	6	5	0	1	1	16	
	2	足 立	11	11	12	7	4	2	47	
	3	足 立 入 谷	1	1	4	0	1	0	7	
	4	綾 瀬	5	13	16	6	11	5	56	
	5	伊 興	3	4	4	5	4	7	27	
	6	梅 島	8	3	5	1	2	4	23	
	7	梅 島 第 一	2	7	4	5	5	4	27	
	8	梅 島 第 二	6	2	2	4	3	7	24	
	9	桜 花	5	3	3	5	5	10	31	
	10	扇	2	2	4	9	5	3	25	
	11	大 谷 田	2	6	8	4	7	4	31	
	12	興 本	8	8	4	8	4	5	37	
	13	加 平	5	6	9	4	8	10	42	
	14	亀 田	16	6	8	6	7	12	55	
	15	北 三 谷	5	3	3	6	11	6	34	
	16	栗 島	8	5	6	5	5	7	36	
	17	栗 原	5	1	3	3	1	3	16	
	18	栗 原 北	3	6	5	4	7	10	35	
	19	弘 道	5	3	3	6	3	2	22	
	20	弘 道 第 一	2	3	7	6	4	2	24	
	21	江 北	18	14	3	8	4	3	50	
	22	古 千 谷	0	8	5	6	5	6	30	
	23	皿 沼	1	6	4	2	5	7	25	
	24	鹿 浜 五 色 桜	5	8	10	13	9	9	54	
	25	鹿 浜 第 一	10	4	10	6	6	8	44	
	26	島 根	8	11	7	8	4	2	40	
	27	新 田	8	7	7	4	6	4	36	
	28	関 原	10	7	10	10	3	1	41	
	29	千 寿	11	16	3	7	10	10	57	
	30	千 寿 桜	10	9	7	7	4	7	44	
	31	千 寿 常 東	6	7	6	6	6	2	33	
	32	千 寿 第 八	5	7	8	6	4	1	31	
	33	千 寿 双 葉	5	8	11	3	7	6	40	
	34	千 寿 本 町	8	5	6	3	6	0	28	

特別支援教室利用児童数（小学校）

令和7年4月7日

障害区分	No	小学校	児 童 数							合計
			1年	2年	3年	4年	5年	6年		
情緒	35	竹 の 塚	2	5	4	4	3	3	21	
	36	辰 沼	6	6	5	4	3	2	26	
	37	寺 地	4	2	2	10	5	2	25	
	38	舎 人	3	3	3	2	4	3	18	
	39	舎 人 第 一	3	3	9	1	5	4	25	
	40	中 川	4	4	1	3	2	2	16	
	41	中 川 北	3	2	10	10	1	5	31	
	42	中 川 東	4	5	5	1	3	1	19	
	43	中 島 根	2	9	7	6	10	5	39	
	44	長 門	1	3	5	9	7	3	28	
	45	西 新 井	10	7	8	6	4	5	40	
	46	西 新 井 第 一	8	9	8	8	2	3	38	
	47	西 新 井 第 二	3	6	3	9	1	2	24	
	48	西 伊 興	9	4	3	5	6	5	32	
	49	西 保 木 間	3	2	5	4	5	5	24	
	50	花 畑	5	4	0	8	6	7	30	
	51	花 畑 第 一	9	8	9	5	9	8	48	
	52	花 畑 西	1	5	3	3	3	4	19	
	53	花 保	4	5	3	8	7	3	30	
	54	東 綾 瀬	6	3	1	5	2	2	19	
	55	東 伊 興	6	8	8	1	4	11	38	
	56	東 加 平	7	4	5	5	2	2	25	
	57	東 栗 原	4	3	6	2	6	8	29	
	58	東 湍 江	8	3	3	8	4	3	29	
	59	平 野	3	6	9	7	7	9	41	
	60	湍 江	6	6	5	6	2	4	29	
	61	湍 江 第 一	3	14	12	5	7	2	43	
	62	保 木 間	4	6	7	4	2	1	24	
	63	宮 城	4	9	8	8	3	6	38	
	64	六 木	3	5	8	6	4	3	29	
65	本 木	8	5	4	3	3	1	24		
66	弥 生	6	8	5	7	7	6	39		
67	鹿 浜 未 来	5	6	5	7	8	5	36		
		計	367	394	391	363	324	305	2,144	

特別支援教室利用生徒数（中学校）

令和7年4月7日

障害 区分	No	中学校	生徒数			
			1年	2年	3年	合計
情緒	1	第 一	3	7	1	11
	2	第 四	1	4	6	11
	3	第 五	5	3	4	12
	4	第 六	5	5	3	13
	5	第 七	5	4	4	13
	6	第 九	6	2	0	8
	7	第 十	5	5	9	19
	8	第 十 一	7	5	6	18
	9	第 十 二	3	3	4	10
	10	第 十 三	1	10	9	20
	11	第 十 四	10	5	5	20
	12	青 井	4	3	4	11
	13	伊 興	5	10	3	18
	14	入 谷	4	0	3	7
	15	入 谷 南	1	0	1	2
	16	扇	4	2	4	10
	17	加 賀	6	3	4	13
	18	蒲 原	5	3	5	13
	19	栗 島	4	8	9	21
	20	江 南	3	5	1	9
	21	江 北 桜	10	5	6	21
	22	鹿 浜 菜 の 花	8	2	6	16
	23	新 田	7	6	3	16
	24	千 寿 青 葉	2	4	5	11
	25	千 寿 桜 堤	3	7	2	12
	26	竹 の 塚	3	5	3	11
	27	西 新 井	7	6	6	19
	28	花 畑	3	3	3	9
	29	花 畑 北	1	3	4	8
	30	花 保	2	5	4	11
	31	東 綾 瀬	8	7	5	20
	32	東 島 根	5	4	3	12
	33	澁 江	3	6	3	12
	34	谷 中	5	9	8	22
	35	六 月	10	5	0	15
		計	164	164	146	474

文教委員会情報連絡

令和7年7月7日

件名	令和6年度おいしい給食推進事業の実施結果等及び令和7年度事業計画について
所管部課名	学校運営部学務課
内容	<p>令和6年度おいしい給食事業の実施結果等及び令和7年度の事業計画について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 おいしい給食推進事業の目的</p> <p>子どもの頃からの望ましい食習慣とその定着を図ることで、子どものみならず、すべての世代の健康増進につなげるため、日々の生きた教材として、「あだち食のスタンダード」を掲げ、3つの実践力を身につけることをめざしています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【あだち食のスタンダード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1日3食野菜を食べるなど望ましい食習慣を身につける ② 栄養バランスの良い食事を選択できる ③ 簡単な料理を作ることができる </div> <p>2 令和6年度の実施結果（主な取組）</p> <p>(1) もりもり給食ウィーク</p> <p>ア 実施日：6月17日（月）から21日（金）、及び令和7年1月20日（月）から24日（金）各学校で実施</p> <p>イ 内容：喫食時間確保、給食時間中の教員等の関わりの充実、食育の実施</p> <p>ウ 学校栄養士や教職員の関わりにより、食に関する興味や関心を高めることができた。</p> <p>(2) 第16回給食メニューコンクール</p> <p>ア テーマ：「足立の野菜収穫量第2位【キャベツ】や第3位【エダマメ】を使ったメニュー」</p> <p>イ 応募数：小学生応募総数 4,397 作品 中学生応募総数 3,296 作品 } 合計 7,693 作品</p> <p>※ 区長賞ほか、小中学校上位各20作品を表彰</p> <p>(3) 魚沼産コシヒカリ給食の日</p> <p>ア 実施日：10月29日（火）</p> <p>イ 内容：中学生が「魚沼自然教室」でお世話になっている農家の新米を小中学校、区立保育園等の給食に提供</p> <p>ウ 魚沼市から寄贈していただいたお米ができるまでの動画を全校の各教室で放映し、生産者への感謝の気持ちを育んだ。</p>

(4) 小松菜給食の日

ア 実施日：11月6日(水)、13日(水)、15日(金)
19(火)

※ 各校いずれかの日で実施

イ 内容：JA東京スマイルより無償で提供いただいた小松菜を使用した給食を小中学校で一斉に実施

ウ 全校で実施 11月 6日(水) 小45校・中 4校
11月13日(水) 小 8校・中25校
11月15日(金) 小13校・中 5校
11月19日(火) 小 1校・中 1校

(5) 野菜の日(衛生部との協働による糖尿病対策)

ア 実施日：月1回(各学校ごとに実施)

イ 内容：旬の野菜を使った給食を提供し、野菜摂取の啓発と食育を実施。また、給食だよりに家庭用レシピを掲載するなど家庭での野菜摂取を啓発。

ウ 給食だよりを通じて家庭用の給食メニューレシピを紹介し、家庭での野菜摂取を啓発した。

(6) 野菜摂取啓発の推進

「ひと口目は野菜から」教室掲示用ポスターを全校の各教室内に掲示し、啓発を行った。



(7) おいしい給食指導員の巡回指導など

ベテラン学校栄養士の経験やスキルを活用し、残菜率が高い学校や経験の浅い栄養士が配置されている学校へ巡回指導、助言を行った。また、全校の学校栄養士が集う会議等で指導・助言事例を周知した。

(8) 「おうちでもひと口目はやさいからチャレンジシート」の実施

ひと口目は野菜から食べる取組を家庭においても啓発するため、夏休み期間のうち10日間、自宅などで1日3食野菜を食べたらシートに色を塗ってもらい、学校に提出してもらおう取組。

(小学1年生：67/67校100%実施。希望する小学5年生：34/67校51%実施)



3 小中学校平均残菜率・総残菜量の推移について

(1) 小中学校平均残菜率

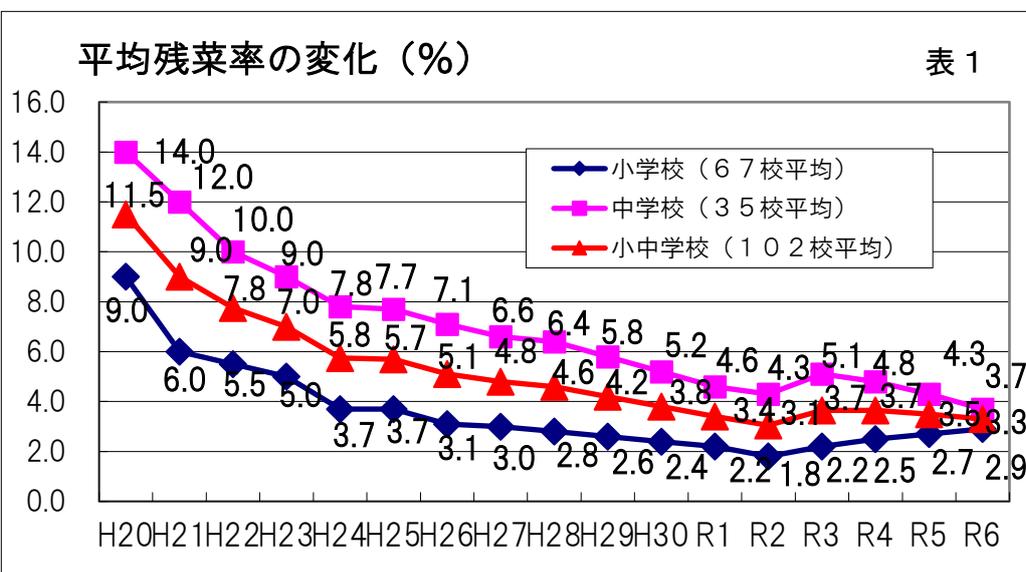
学校	①R5年度	②R6年度	①と②の対比
小学校	2.7%	2.9%	0.2%増
中学校	4.3%	3.7%	0.6%減
平均	3.5%	3.3%	0.2%減

(2) 小中学校総残菜量

112 t (令和5年度) → 108 t (令和6年度)

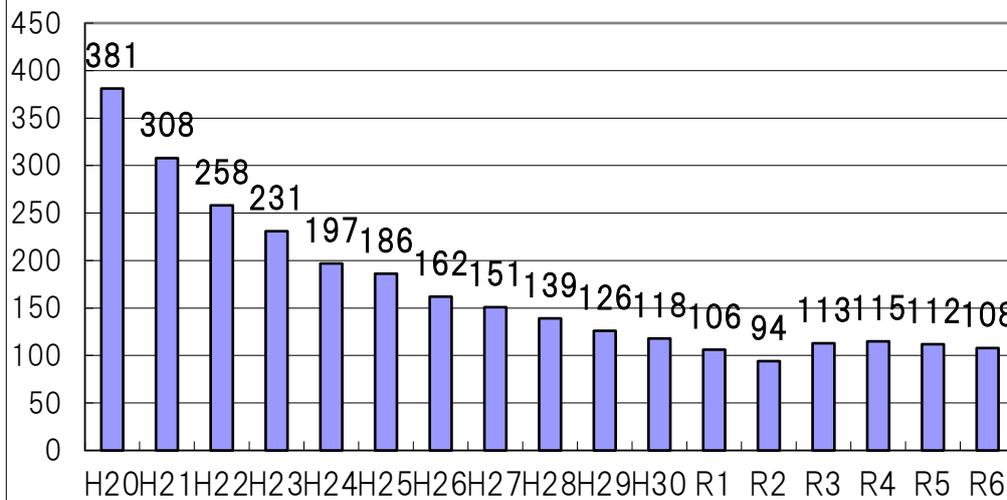
(3) 分析

令和6年度は栄養士の退職などにより、配置転換を6校で行ったほか新人栄養士を6校配置した。研修や巡回などを行っているが、小学校では前年度より残菜が若干増えている傾向がある。令和6年度の対前年度比の残菜率が小学校で0.2ポイント増加したが、中学校で0.6ポイント減少したため、小中学校全体では0.2ポイント減少した。



小中学校総残菜量 (t)

表 2

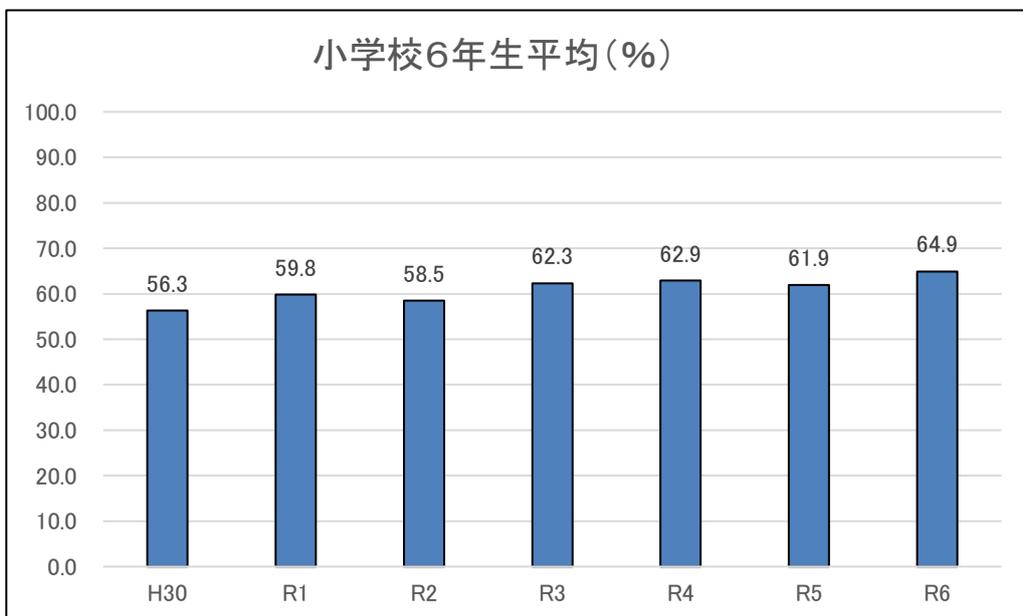


(4) 改善の取組

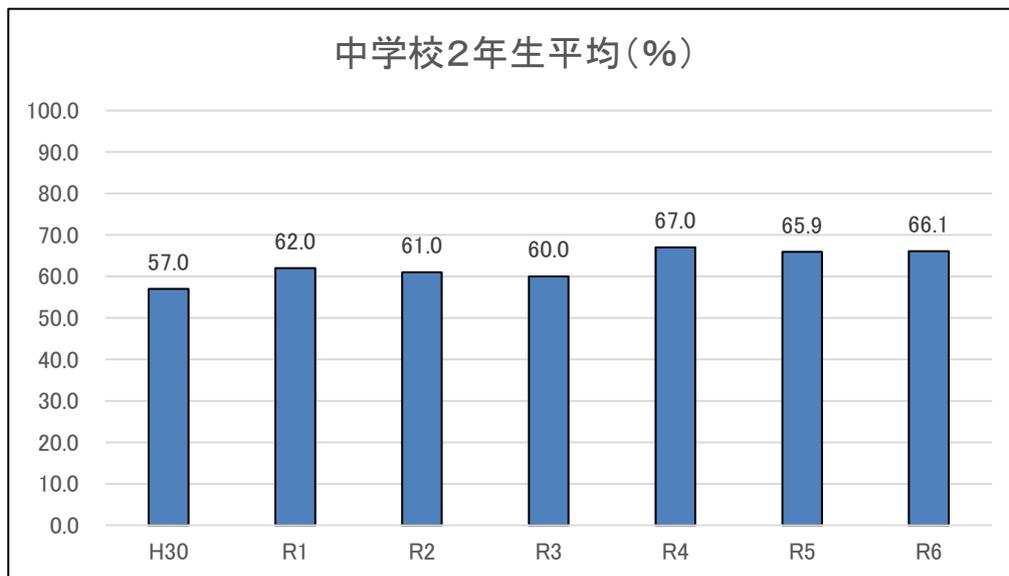
残菜率が高い学校に対して、巡回指導を行いながら原因を究明し学校と協力しながら対応策について検討していく。

4 学校給食で野菜から食べる児童生徒の割合

(1) 小学校6年生の割合



(2) 中学校2年生の割合



(3) 分析

野菜摂取啓発「ひと口目は野菜から」の取組や学校ごとに実施している月1回の野菜の日の取組などから、野菜から食べる児童生徒の割合は6割以上になっている。引き続き、野菜摂取啓発事業に取り組み野菜から食べる児童生徒の割合を増やしていく。

5 令和7年度の事業計画（主な予定）

学校現場の実情を踏まえながら、学校での取組や家庭への働きかけを通じ、児童・生徒の食への意識、意欲を高めていく。

事業名等	日程（予定）	取組（予定）
野菜摂取啓発 「ひと口目は野菜から」の取組	通年	<ul style="list-style-type: none"> ① 啓発ポスターの掲示 配布済の新たなデザインのポスター（マグネット式）を全クラスで掲示 ② 「おうちでもひと口目は野菜からチャレンジシート」 ③ 「ひと口目は野菜から」の大切さを説明 各校の学校栄養士が給食時間に校内放送等を活用し説明

おいしい給食 検討会	毎月1回 (2月除く)	① 学校栄養士のスキルアップ ② 検討内容(献立、給食会計、 衛生管理、アレルギー対応等 に関する指導と意見交換等)
もりもり給食 ウィーク	6月(食育月間) 1月(給食週間)	① 食べる時間の確保と食育指 導を実施
給食メニュー コンクール	募集 夏休み期間 ※ 表彰式 11月	① テーマに合わせた給食メニュ ー作品を募集
魚沼産コシヒカ リ給食の日	10月下旬	① 中学生が「魚沼自然教室」で 収穫した新米を小中学校、区 立保育園等の給食で提供
おいしい給食 アンケート	実施 9月～10月 集計・分析 11月～1月	① 全校(小学6年生、中学2年 生)を対象に実施
小松菜給食の日	11月中旬	① 足立区産の小松菜(JA東京 スマイル農業協同組合より提 供)を使用し給食を実施
長期休み期間の 課題「わが家の シェフになろ う！」	通年	① 児童、生徒が自宅で調理を行 い、食の実践力を養う
食育リーダーを 中心とした体制 の強化	食育リーダー 研修会 (5月、10 月、1月)	① 栄養士以外の教員を食育リー ダーとして指定 ② 学校全体でおいしい給食・食 育を推進 ③ 研修会を年3回実施
学校栄養士・食 育リーダーのス キルアップ	通年	① おいしい給食指導員による指 導、助言事例を、栄養士、食 育リーダーに周知

文教委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時及び場所	PRの方法
13 青少年委員 の委嘱につい て 所管課 【青少年課】	青少年委員が欠員となっていた中島 根小学校について、令和7年5月12 日付で新たに委員を委嘱したので報告 する。 1 被委嘱者 谷敷 勝治（やしき まさはる） 2 委嘱期間 令和7年5月12日から 令和8年3月31日まで 3 委嘱後の青少年委員総数 102名 ※ 欠員の小中学校は無し。		

文教委員会情報連絡

令和7年7月7日

件名	あだち放課後子ども教室の令和6年度実施状況について		
所管部課名	学校運営部 青少年課 足立区生涯学習振興公社		
内 容	あだち放課後子ども教室（以下「放課後子ども教室」という。）の令和6年度実施状況について、次のとおり報告する。		
	1 放課後子ども教室の内容		
	小学校の放課後に、校庭や体育館、教室や図書室などで子どもたちが自由に遊んだり、読書や学習活動をする場を提供する教育委員会の事業。子どもたちが安全に過ごせるように、安全管理員（見守りスタッフ）が活動の見守りをしている。地域の方々により組織された各校の実行委員会（以下「実行委員会」という。）が運営し、足立区生涯学習振興公社がその支援を行っている。		
	2 放課後子ども教室と学童保育室との違い		
		放課後子ども教室	学童保育室
	対象者	当該小学校の1～6年生で、参加を希望する児童	保護者が就労等の理由で放課後の保育が必要な区内に在住または在学する小学1～6年生
	利用手続	実行委員会あてに「参加登録申込書」を提出。 一度登録を行えば、原則小学校卒業まで自動更新	毎年度、入室申請書を提出し、承認を受ける必要あり。
	内 容	自由な遊びと学習、体験の場を提供し、放課後の子どもの安全な居場所を確保する。 ※ 実施内容（会場や対象学年など）は、各学校の状況により異なる。	適切な遊び及び生活の場を提供し児童の健全な育成を図る。
	運営体制	実行委員会により運営	区直営、住区センター（委託）、指定管理、民設民営により運営
	おやつ	なし	あり
金額	無料	月額 6,000円	
実施日	給食のある日の放課後のうち、実行委員会で開催日を決 ※ 一部実行委員会では、夏休み期間にも実施。	月～土曜日 ※ 春・夏・冬休みも実施	

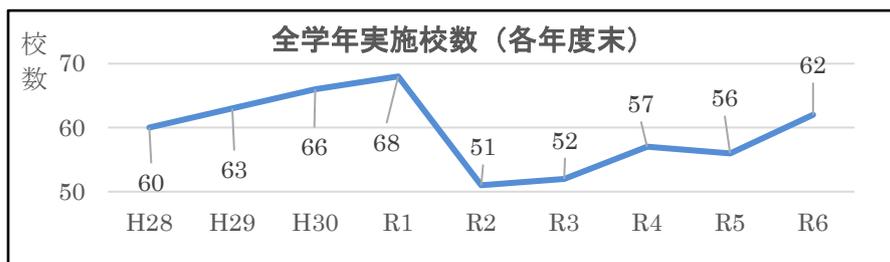
3 令和6年度実施状況

(1) 基本方針に対する達成状況

ア 放課後子ども教室運営における基本方針として、週5日かつ全学年同時開催を目指している。

イ 感染症対策のために行った学年分け等、変則的な運営方法を継続している放課後子ども教室も多く、基本方針とは大きな隔たりがある。

(2) 全学年(1～6年生)実施校 62校/67校



ア 1年生の受入れを行わなかった放課後子ども教室が5校あった。

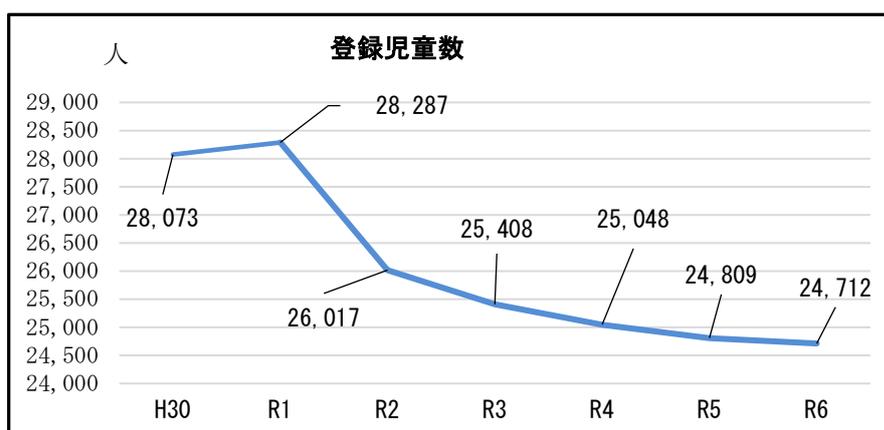
(ア) 受入れを行えなかった理由

- ① 1年生は他学年より早く授業が終わるため、放課後子ども教室の開始まで待機する必要があるが、待機場所がない。
- ② 活動中の見守りを他学年よりも慎重に行う必要があるが安全管理を万全に行うためのスタッフが不足している。

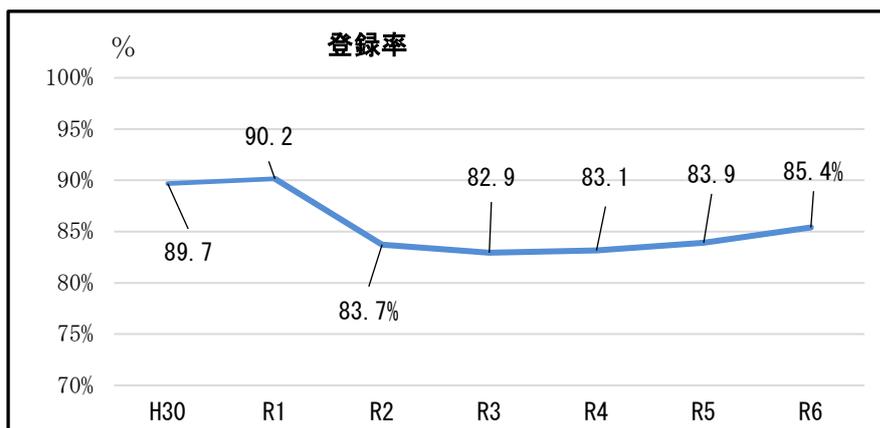
(3) 週5日実施校 58校/67校

一部曜日未実施：9校

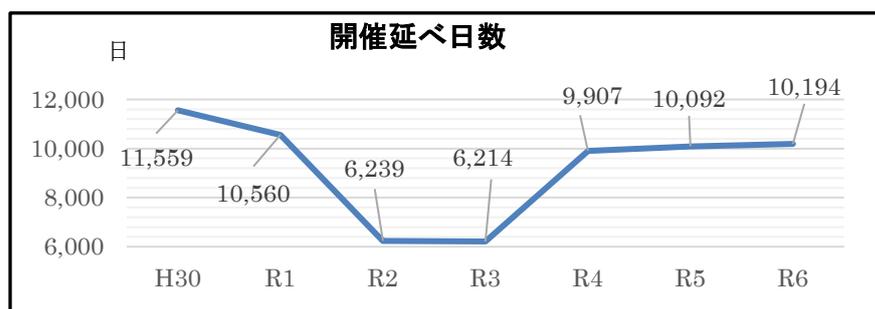
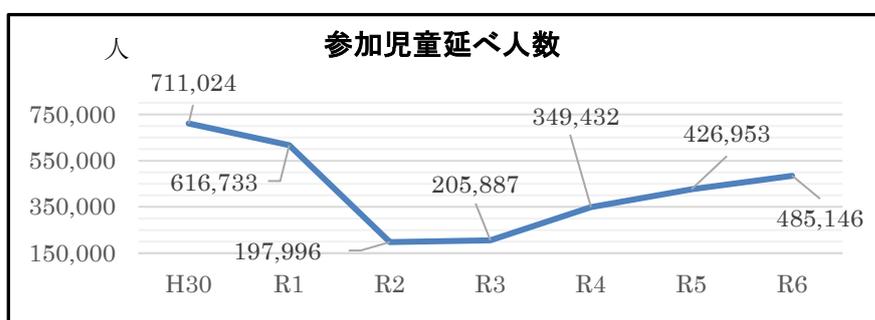
(4) 登録児童数と登録率



※ 令和2年度の登録者数の大幅な減少については、新型コロナウイルスの影響により全学年の利用停止が2校、1・2年生利用停止が15校あったことが要因である。



(5) 参加児童延べ人数・開催延べ日数



※ 令和6年度は、参加児童延べ人数・開催延べ日数ともに前年度より増加した。

4 「新・足立区放課後子ども総合プラン(令和2～6年度)」目標達成状況

(1) 放課後子ども教室の実施計画

ア 全学年対象校数

年度別目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
目標値	68校	68校	68校	67校	67校
実績値	68校	68校	67校	66校	66校
達成率	100.0%	100.0%	99%	99%	99%
達成分析	全学年対象未実施の残り1校については、該当校のスタッフ不足に対する支援を継続しながら、実行委員会と協議を進める。				

※ 目標値には、令和4年度 △1校、5年度 △1校の統合を含む。

イ 体験プログラムの充実

年度別目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
目標値	360回	370回	380回	390回	400回
実績値	52回	182回	561回	1,074回	1,444回
達成率	14.4%	49.1%	147.6%	275.3%	275.4%
達成分析	実績値は目標値を大幅に上回った。開催日数が増加したことと、体験プログラムの種目が増えたため。				

ウ 夏休み実施校数

年度別目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
目標値	6校	7校	8校	9校	10校
実績値	0校	1校	8校	10校	13校
達成率	0.0%	14.2%	100%	111%	130%
達成分析	実績値は目標値を超えた。夏休み実施について前年度末から検討できたため、開催校が増えた。				

(2) 特別な配慮を必要とする児童への対応

ア 「子どもとの接し方（スタッフ向け）研修」実施回数

年度別目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
目標値	1回	1回	1回	1回	1回
実績値	0回	3回	2回	2回	3回
達成率	0.0%	300.0%	200%	200%	300%
達成分析	「子どもとの接し方」をテーマにした研修を3回実施した。個別テーマは、①「気になる子との接し方～子どもに響く関わり方、届く言葉かけ」②「子どもの心を読み解くコミュニケーション実践法」（2回実施） ※①②集合型研修、①のみ併せて動画配信を実施				

5 問題点・今後の方針

- (1) 児童の安全を確保しながら、通常の運営（全学年実施・週5日）に戻していくよう、引き続き、実行委員会及び学校と協議していく。
- (2) 学校間に開催日数や1年生受入れ開始時期の差などが生じており、見守りスタッフの安定的な確保、低学年の待機場所調整等により、解消のための方策を検討していく。
- (3) 1年生の受入れに関しては、各小学校の放課後子ども教室実行委員会において、生涯学習振興公社担当者より実施に向けた協議を行うよう強く要望していく。